



# みやぎ

— 81号 —



発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院  
 発行責任者 広報委員長 安藤 肇史  
 〒989-2202  
 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

## 令和6年の年頭に思う

新年明けましておめでとうございます。令和6年甲辰年の年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。甲辰は新鮮なエネルギーに満ち新しいことを始めるのによい年回りだそうです。宮城病院も今年は病棟変換と幹部交代を控えており新しい時代の始まりになります。

今年は元旦に最大震度7を記録した能登半島地震が発生したうえに、2日には羽田空港で救援物資を搭載した海上保安庁の航空機と着陸直後の日本航空機が衝突炎上するという大事故が起きました。羽田空港の事故では、日航機乗員の的確な対応によって幸いに乗客乗員は全員無事でしたが、海保側では5人の隊員が犠牲になりました。これらの出来事が正月におきたことから漠然とした不安に襲われますが、地震が人間社会とは無関係の自然災害であることを考慮すれば正月であったことは偶然にすぎません。とは言え、人口減少・高齢化とともに衰退していく日本経済や閉塞感のある国内状況を見て、様々な出来事が悪い方向へつながっているかのような錯覚にとられるのは無理もないことでしょう。

ドイツの哲学者マルクス・ガブリエルはTV番組で「日本人は今も90年代の余韻の中に生きているようだ」と言っていました。人口もGDPもピークを迎えていた1990年代に比べて、現在の日本社会があまり変わってないと感じるのはその通りだと思います。1993年から2021年の約30年で日本のGDPはわずか1.1倍に留まったのに比べて、アメリカは約4倍に増加、中国にいたってはなんと28倍を超える大幅な増加で日本の3倍の規模になりました。私がアメリカに留学していた90年代は中都市で月500ドルも出せばアパートが借りられましたが、今は2000ドルを超える賃料になっていると聞きます。アメリカは産業構造もGAFAsが主導する情報産業へ変換し、社会も騒々しいほど多様なものになっていきました。日本でもスマホが普及し誰でもオンラインゲームを楽しむようになりましたが、政治体制や市民生活は90年代と大差ないように見えます。日本人は社会構造の変化を好まず（結果的に）江戸時代のような安定性を選んだのかもしれない。

しかしながら、人口減少・高齢化社会において継続的に医療提供を行うには、イノベーションによる医学の進歩と経済成長が必要なことは確かなことだと思います。江戸時代の日本は静かで洗練された文化が開花したが、流動性の少ない停滞した社会でした。その間外国では産業革命や政治構造の変化が進み、わが国は医学のみならず様々な点で取り残されました。現代の日本社会は分断が少なく日航機事故で発揮されたような互助や団結の精神など多くの強みがあります。これから日本を支えていく若い人たちが、閉塞した年功序列やジェンダーの壁を打ち破って自由に発言、活動し、わが国の強みを生かしながら医療や社会に新鮮な風をもたらしてほしい。やがて去り行く年長者の一人として、新しい時代を切り拓く若いイノベーターたちに心からのエールを送ります。



院長 永野 功

基本理念 「良い医療を安全に、心を込めて」

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を充分发挥できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット

キャラクター

「みやべりー」

宮城病院  
Instagram



※読み取ってください

## 令和5年度 山元町及び亘理町並びに宮城病院相互協力協定に基づく意見交換会開催される

昨年10月30日(月)15時から当院デイケア棟大会議室にて、令和5年度山元町及び亘理町並びに宮城病院相互協力協定に基づく意見交換会が実施されました。

はじめに、橋元伸一山元町長より「この意見交換会は今年で9回目、宮城病院はこの地域にとってなくてはならない唯一の医療機関であり、両町と宮城病院が協力し、今後も県内のモデル事業的取り組みとして発展させていきたい。」とご挨拶がありました。意見交換では、山元町から令和4年度連携事業及び令和5年度事業計画について説明後、当院永野院長より「①両町の支援のおかげで医師の確保に繋がったことに感謝しつつ、今後もあらゆる方法を駆使して医師確保に努めたい。②両町との連携を強化して地域医療を推進していきたい。」など当院の現状を報告しました。

また、山田周伸亘理町長より、「①新型コロナにかかる地域外来検査センターでは、多くの住民の検査への尽力に感謝。②乳幼児健診について、大変丁寧に診ていただき保護者からも大変好評、引き続きお願いしたい。③地域の総合病院としてなくてはならない病院。」などの説明があり、山元町長より、「①災害復帰工事が完了し、災害時のため井戸も整備していただいた。山元町でも災害に備え体制を整えている。②現在委託している地域包括支援センターも住民からの評判が良い。」などの説明がありました。

最後に、亘理町長より、「宮城病院は郡内唯一の医療機関として、子供から高齢者まで幅広い年齢層の地域医療を守るため日夜従事していただいていることに感謝。」とご挨拶で締めくくりました。

当院は、訪問看護・リハビリ、地域包括支援センター事業受託、救急医療等地域包括システムを中心とした地域医療等の提供を行っております。今後も亘理郡唯一の病院として、両町と密接な連携を図り地域包括ケアシステムを実践して参りますので、引き続き地域のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

(事務部長 山本 等)



橋元山元町長と永野院長と山田亘理町長

## 経頭蓋MRガイド下集束超音波治療 (MRgFUS) 200件達成

集束超音波治療を東北地方で唯一行っている宮城病院ですが、2023年10月にその治療件数が200例となりました。保険診療として行った症例数は全国一の件数です。それだけニーズが多かったということですが、機能的脳神経外科手術の東北北海道地区における中核病院の一つであるという当院の実績も評価されて多くの症例を御紹介いただけたのだと思っています。治療成績も約80%の患者さんで概ね満足いただけています。



200症例達成を記念して

導入後3年経過しましたが、MRIや治療機器の進歩で最近ではその成績がさらに上がっています。また、単純な治療成績だけでなく、入院から退院までの全過程で各スタッフの努力により満足度が上がっていると思われる。

この治療自体まだ十分に知られているとはいえ、ふるえを我慢して日常生活を送っている患者さんも多くいますので、今後はこの実績を様々な方法で紹介していく必要性を感じています。

(副院長 安藤 肇史)



## ☆クリスマスイルミネーション☆

当院恒例のクリスマスイルミネーション！！今年も12月1日～12月28日の日程で開催されました。職員がすべてデザイン・飾り付けを行っていて、まさしく「手作り」のイルミネーションです。

点灯されると、復旧工事が終了し整備された病院正面玄関前庭が一気に華やぎました。今年は、新型コロナウイルス感染症により規制されていた世の中を少しでも気持ちを明るくしてもらいたいと、昨年より5,000個の電球を増やしました。特にきらびやかに輝く光のトンネルには、近隣の子供たちが喜んで通っている姿がみられました。地元の風物詩ともなっているこの行事、今後も長く続けていきたいと思えます。

(医療サービス委員会 庶務係長 小原 有里)



## ミュージック・シェアリング 秋の訪問コンサート2023

11月29日(水)、認定NPO法人ミュージック・シェアリングの秋の訪問コンサートが開催されました。

6月に訪問頂いた際は、五嶋みどりさん率いる弦楽器のカルテット演奏でしたが、今回の訪問は、雅楽演奏団体「怜楽舎(れいがくしゃ)」より、3名の演奏家さんが南病棟ホールにて演奏していただきました。

演奏会では優雅で神秘的な音色に引き込まれ、日本の伝統芸能の素晴らしさを知る事ができました。

また演奏だけではなく、楽器の紹介や楽器の音と一緒に「もみじ」を歌唱し、演奏家さんとの交流を通じて、日本文化の奥深さを体験できた貴重な時間となりました。

(療育指導室 保育士 油井 沙織)





# 第3回 秋のみやベリー展

すっかり病院行事としても定着したみやベリー展は、今年で3回目を迎えました。約20名を超える職員から様々な趣向の作品が出品され、芸術の秋を楽しませてもらいました。

(医療サービス委員会 庶務係長 小原 有里)



銀賞  
明日ありと願う  
やまたか

金賞  
植木鉢を置く台  
ものづくりのT・T



銅賞  
生活雑貨を利用し  
ての野の草花  
K&K



Here Comes The Sun  
上野 一久

冬支度  
編み物大好き



オオカミたちによるバンド演奏  
WOMEN WITH A MISSION



ライガーゼロ  
神 未来

躍動(銅板細工)  
Ya-man



ピアノ・クラリネット演奏  
みやベリー展のBGM



レジン 私の癒し  
こんぺいとう



ジムスナイパーII  
布田 紳也

身近な物でエコアート  
もったいないばあさん



マスコット  
S



短歌  
やまたか



SCV-70 1/400  
ほっち

秋の折り紙リース  
佐藤 亜樹



いつかの風景  
Ya-man



身近な物でリサイクル  
宮城 芳恵



自由は新たなる舞台へ  
歌姫の騎士



# 歯科外来



歯科外来では、地域住民の方々から宮城病院に入院中の患者さんまで、幅広い方々を対象に歯科治療を行っています。車いすやベッドの方、恐怖心が強く歯科治療に苦手意識がある方、お子さんから高齢の方まで、皆さんの気持ちに寄りそった歯科治療を心がけています。週に2回の入れ歯専門外来も設けています。皆さんが、未永く自分の口から食事を楽しみ生活できることを目指して、スタッフ一同取り組んでいます。

患者さんの多くは、治療中の病気や内服している薬を持っています。当院脳神経内科や脳神経外科に通院中の方、高血圧症、心疾患、脳血管障害、糖尿病などの病気を患っている方、抗血栓薬や免疫抑制剤、骨粗しょう症治療薬の投薬を受けている方は、口腔管理がとても大切です。必要に応じて、かかりつけ医と連携を取りながら、安全な治療を心がけています。

スタッフは歯科医師2名、歯科衛生士2名、受付1名です。皆さんのお口の健康管理のお手伝いをいたします。

(歯科医長 稲木 涼子)



歯科外来スタッフ



診察台へ段差なく座れる椅子  
さまざまな患者様に対応できるよう工夫しています



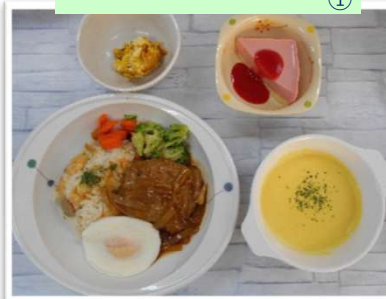
# 栄養管理室



病院の食事にどのようなイメージをお持ちですか。今回は当院の行事食についてお伝えいたします。

クリスマスの昼食(①)に提供したのは、エビピラフ、コーンスープ、ハンバーグ&目玉焼き(こちらはワンプレートに盛り付けています)、カボチャサラダ、イチゴのケーキです。また嚥下機能に配慮したクリスマスメニュー(②)はチキンライス、コーンスープ、ハンバーグのゼリー&目玉焼き、カボチャサラダ、イチゴケーキです。チキンライスには鶏肉のゼリーが入っています。

クリスマスメニュー ①



嚥下食 ②



お正月メニュー ③



嚥下食 ④

次は元旦の夕食(③)です。定番となっていますが、縁起の良い食材を折りに詰めています。ぶり、えび、伊達巻、煮しめと栗きんとん、黒豆です。主食は赤飯となっています。これらをゼリー状にしたものが④となります。特に今年は、松型に切り抜いた黒豆のゼリー(⑤)を付けました。主食は赤飯風粥で、金時豆をゼリー状にし、盛り付けています。

十人十色という言葉がある通り、患者さん全員の舌を満足にさせることは難しいかもしれませんが、一人でも多くの患者さんの笑顔を増やすことができるよう努めてまいります！

(栄養管理室長 小端 晶子)

# 年男・年女 大集合



## 辰年生まれの年女 今年のつぶやき

ガオーガオーと産まれて、はやうん十年！

今年こそはやせるぞ、と思っははやうん十年！

沢山の素敵な方々に囲まれて、幸せな日々感謝しながらもう少し頑張ろう！

地域医療連携係長 菊地操子

干支を何回転？？？して今日の年男になりました。私生活が代り映えしないので次の年男までに、幼少から苦手な何か楽器の演奏が出来る様に…と考えています。今年もよろしく願いいたします。

副臨床検査技師長 櫻井保

2024年は健康第一で穏やかに過ごしたいです。

看護師 西夏美

2024年は甲辰と、60年の新たなサイクルのスタートとなる縁起が良い年のため、目標を立てて行動したいと思います。厄に負けず、竜頭蛇尾に終わらないように、計画的に1年を充実して過ごしたいです。

作業療法士 佐藤好

今年は年女として、更に一人前の看護師に近づけるように、日々患者様に寄り添うことを忘れずにケアに取り組んでいきたいと思ひます。また、チームの一員として先輩方と積極的にコミュニケーションをとり、頑張りたいと思ひます。

看護師 柴田恵久

先輩方の手厚いフォローをいただきながら、保育士としてだけでなく社会人として大事なことを学ぶ日々です。早くも2年目に突入する年になりますが、健康を維持しながら仕事を頑張っていきたいです。

保育士 佐藤美羽

## 寄附金について

新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスの感染拡大が続く中、多くの個人・企業の皆さまからのご寄付を賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

独立行政法人国立病院機構宮城病院では、患者様に高度で安全な医療を提供するためや施設の整備など、有効に活用させていただきます。

本院の運営のために、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(経理係 岩淵 晟)

※公開のご了承をいただいた方のみ、ご芳名を掲載しております。

(令和5年11月以降ご寄付等受領分)

受領日	氏名	内容
令和5年11月19日	亀井 めぐみ 様	寄附金



## 在宅支援について

## 地域医療連携室

こんにちは。2024年もよろしくお願ひいたします。

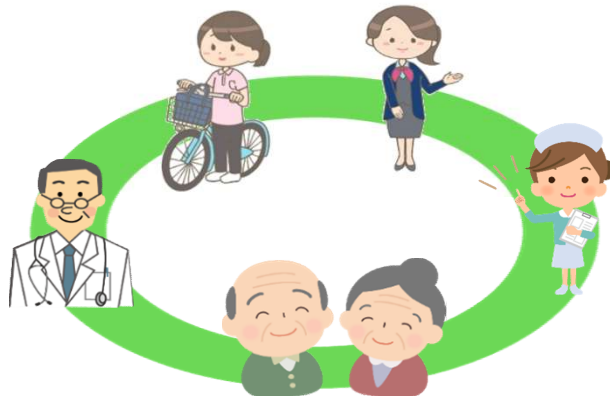
今回は、「在宅支援について」お話しします。

在宅支援とは、病気や障害を持っていても、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるように、本人と家族の意向を尊重したうえで安心して在宅生活に戻れるよう支援することです。

当院では、入院時より本人と家族の意向を確認しながら多職種で連携し、医療や介護福祉に関わる様々な専門職が専門性を活かし、チームとして本人の生活の質を維持しながら在宅での生活へとつないでいくことができます。

急な入院となり、「これまでできていたことが難しい、どうしよう」「介護ははじめてでわからない」など、様々な不安があると思います。悩みや心配事は遠慮なく当院のスタッフへお話しください。多職種と連携を図り、利用できる社会資源の相談やケアマネジャーさんへ橋渡しなど、安心して在宅で生活ができるよう一緒に考えていきたいと思ひます。

(副看護師長 作間 智美)



## 部署・新人紹介

## 中央病棟4階

新年あけましておめでとうございます。当病棟は急性期病棟として、安全で安心していただける看護の提供を心がけております。3月からの地域包括ケア病棟への移行に向けて、退院支援や意思決定支援に関する学習を進め、準備をしているところです。看護師26名、業務技術員4名で今年も明るく元気に、思いやりのある看護を提供できるよう頑張ります。

(中央病棟4階 看護師長 佐々知恵)



### ～新人看護師のコメント～



看護師として患者様と関わり、チームの一員としてケアを行わせていただいています。不安なことや分からないことが沢山あり、くじけそうになることもあります。患者様との日々の関わりから多くの学びや発見を得てより良い看護を提供できるように頑張っています。

先輩方がいつも温かくサポートして見守ってくださり、毎日感謝の気持ちを持ちながら業務に励んでいます。



樋口 彩伽



梅津 里佳子



柴田 恵久



# 診療案内

令和6年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	中屋 亮彦	中村 貴彬	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3・5)	
	再来	永野 功	齋藤 早紀 (第1・3・5)	永野 功	中屋 亮彦		
		中村 貴彬	梅澤 周 (第2・4)	松本 有史		金子 仁彦 (第2・4)	
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁	
		志澤 聡一郎	結城 翼	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	
		齊藤 秀行				菊地 章子 結城 翼	
循環器内科	午前			加藤 浩	東北大学病院から		
	午後	東北大学病院から (検査日)					
呼吸器内科			齋藤 拓矢				
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)		
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之		
	午後		(手術日)		(手術日)		
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩	
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩	
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から	
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科				舘 一史		澤村 武 渡部 紀久子 (週替わり 13:30~15:30)	
皮膚科	午前				東北大学病院から		
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史	
			永松 謙一 (不定期)				
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	
専門外来	パーキンソン病外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)		
入れ歯外来				白石 成		小川 徹	

## 受診される方へ

①受付時間は8:30~11:00です。

②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始  
(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、急患の方は随時受付いたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2750円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。  
(詳しくはお問い合わせください)

